

平成29年度 小型家電リサイクル啓発事業 「親子リサイクル体験教室 in 一関高専」を開催しました。

使用済み小型家電等に利用されている金属等の相当部分が回収されずに廃棄されている状況から、その再資源化を促進し、資源を有効に利用するため、小型家電リサイクル法が平成25年4月に施行されました。

東北経済産業局では、身近な小型家電から「金」を取り出すなどの体験をすることで、次世代層の子どもたちにごみの減量やリサイクルに関する意識を向上させることを目的に、高専や自治体、認定事業者のご協力を得て、小学生4～6学年の児童を対象とした親子リサイクル体験教室を開催しています。

今年度は、8月の仙台高等専門学校での開催に続き、10月7日(土曜日)に、一関工業高等専門学校にて、親子リサイクル体験教室を開催し、一関市及び周辺在住の小学生親子20組40名が参加しました。

○小型家電リサイクルに関する学習

一関工業高等専門学校 佐藤利久教授からは、冒頭ご挨拶いただき、続いて、小型家電リサイクルに関連する以下の説明を聞きました。

- ・小型家電認定事業者のニッコー・ファインメック(株)からは「小型家電の資源リサイクルについて」
- ・一関工業高等専門学校からは「電子製品に使われている金属の種類と性質」
- ・一関市からは「小型家電リサイクルに関する一関市の取組」



○実験・観察、工作

- ①一般化学実験室に移動して、使用済みのゲーム機を分解して、基板を取り出し、金属が使われている様子を観察しました。



②教室に移動して、基板から金を取り出す実験の様子を映像で確認しました。



③あらかじめ基板から取り出した金箔を使ってしおりを作り、記念としてお持ち帰りいただきました。



<参加者アンケートの結果(抜粋)>

「小型家電をリサイクルする仕組みがあることをご存知でしたか？」

(保護者回答)	知っていた	90.0%	(児童回答)	知っていた	40.0%
	知らなかった	10.0%		知らなかった	60.0%

「使わなくなったものに入っている資源をリサイクルする大切さがわかりましたか？」

(児童回答)	わかった	85.0%
	なんとなくわかった	15.0%

小型家電リサイクルの仕組みを知らなかった児童が6割でしたが、この体験教室を通して資源再生の重要性について理解できたようです。また、「今後、このような体験教室に参加したいですか？」の質問に対し、児童は9割が「参加したい」と回答しており、体験教室への高い期待がうかがえました。

<参加した方の感想(アンケートより抜粋)>

(小学生から)

- 小型家電に金が使われているのを知らなかったのでおどろきました。オリンピックの金メダルは全てが金ではないということも知ることができました。
- ゲーム機の中がすごい基板になっていたことがわかりました。
- 家でできないような実験をしてよかったです。リサイクルの大切さを感じました。

(保護者から)

- 学校でもゴミやリサイクルの学習をしていたので、あわせて勉強になり良かった。
- 子供たちのキラキラした目が印象的でした。
- 小型家電リサイクルをもっと広める必要があると思いました。
- 小型家電を大切な資源としてリサイクルして、金メダルを作ってあげたいと思いました。